

Himekan
Group

1 2026
月号

Himekan Group
株式会社姫路環境開発

HIMEKAN NEWS

”質のいい会社”へ向けた、ひめかんの歩み

姫路環境開発にとって「準備」の年だった2025年。2026年は準備が実を結ぶ一年としたい。その先駆けとして行われた、新工場「資源リサイクルセンター」の竣工式をメインピックとしてお届けします。今年のひめかんもお楽しみに！

“ 資源リサイクルセンターと
初出式特集の2本立て！
ひめかんの目指す未来とは ”

資源リサイクルセンター
裏側に密着の新設の

▼今月のトピック

資源リサイクルセンター竣工式

2026年初出式

産業資源循環協会 青年部 オプショナルツアー

対面1day仕事体験 開催

新収運事務所完成 ほか

広報作成

資源リサイクルセンター竣工式

今月、関係者の皆様にご臨席いただき、資源リサイクルセンターの竣工式を執り行いました。
無事にこの日を迎えられたのは、工事関係者の皆様、地域の皆様、そして日々現場を支える社員一人ひとりの力があってこそです。心より感謝申し上げます。

資源リサイクルセンターとは

資源リサイクルセンターは、**回収した廃棄物を可能な限り資源として再生する**ために誕生した新工場です。資源循環が当たり前となりつつある現代において、廃棄物を「処理する」だけでなく、「**資源を循環させる**」役割を担います。Himekan Groupが目指す資源循環型社会の実現に向けた、重要な拠点です。



新設背景と提供価値

資源リサイクルセンター新設の背景は大きく2つあります。

① 分別強化

これまで手作業中心だった分別工程を、機械選別を主軸とした体制へ転換。特に廃プラスチック類の分別精度を高め、最終処分場行きを減らす設計としています。

⇒これにより、**分別の高度化による再資源化率の向上**に貢献します。分別しきれなかったものを「分けきる」ことで、最終処分量の削減につなげます。

② 作業環境の改善

中腰作業から立ち作業へ、屋外作業から空調の効いた屋内作業へ。さらに、人と重機を物理的に分離することで、安全性と働きやすさの向上を図っています。

⇒これにより、**安全・安定した処理体制**を構築します。危険作業の低減と作業環境の改善により、年齢や経験を問わず活躍できる、持続可能な現場づくりを実現します。

▼機械式選別機バリオセパレーター



▼選別の様子（イメージ）



竣工式の様子

ご来賓・設計・施工業者など、関係者が一堂に会して竣工式を執り行いました。会場では神事を通じて工事の無事と今後の安全を祈願。あわせて、施工会社による工事の歩みを振り返る映像と、当社制作の完成紹介動画を上映し、施設が形になるまでの過程や想いが共有されました。多くの支えに感謝し、節目を実感するひとときとなりました。



資源リサイクルセンター センター長より

この度、新リサイクルセンター立ち上げに際し、分別の強化と作業環境の改善を軸に現場力の向上を図ります。一人ひとりがルールを守り、無駄や危険を見逃さないことで安全で効率的、そして誇りを持てる工場を実現します。また、従業員の安全を最優先に、働きやすさ設備・動線・環境面の継続的な改善に取り組みます。

2026年 初出式

2026年、前へ進む一年へ

1月5日、新年最初の営業日に初出式を執り行い、梅崎社長より新年のご挨拶をいただきました。

今年は午年。前へ進む力や勢い、仲間とともに進む力を持つ年とされています。昨年から進めてきた取り組みや挑戦を、今年はしっかりと結んでいく一年にしたいという想いが語られました。

また、箱根駅伝を例に挙げながら、一人ひとりが力を発揮し、支え合う「いいチーム」の大切さについても触れられ、社員一人ひとりの役割の重要性が改めて共有されました。



社運をかけた挑戦がいよいよ動き出す

今年は、資源リサイクルセンターが完成し、本格的に動き出す大きな節目の年となります。

1月24日に竣工式を迎え、3月には許可取得、そして全社員での運営が始まります。社運をかけた設備投資であり、姫路環境開発の未来を左右する重要な挑戦です。

日本では資源やエネルギーが限られる中、地域に根差した「資源を循環する会社」「原料を供給する会社」を目指し、これまでの準備を土台に、今年から本格的に地固めをして前へ進んでいく決意が示されました。



一人ひとりの行動が会社の未来をつくる

今年は2年ぶりに新卒社員6名を迎えます。新しい仲間とともに成長していくためにも、社員一人ひとりが「姫路環境開発の顔」であるという意識を持つことが大切です。

我が社が目指しているのは、単に仕事をこなす会社ではなく、『質のいい会社』です。

お客様や地域の方々に、「ひめかんの社員さんはすごくいい人が多い」「社会にとってすごく必要な仕事をしている会社だ」と感じていただけることこそが、私たち環境のプロとしての仕事だと考えています。

また、現在約31万時間の無災害を達成していますが、これは日々の小さな意識と行動の積み重ねによるものです。安全を守ることも、会社の質を高める大切な要素です。これからも一人ひとりの行動を通じて、社会から必要とされる会社を目指し、全員で姫路環境開発の価値を高めていきましょう。

各管理者より 新年のご挨拶



◆ 専務取締役

今年は資源RC設備が本格稼働します。新しい設備・新しい挑戦には必ずリスクが伴うため、一つひとつ危険を洗い出し、安全確保に真剣に取り組んでいきます。設備導入は通過点であり、我が社は資源循環・原料供給の次のステップも見据えています。今回の導入で止まることなく、さらなる進歩を重ね、会社を前へ進めていきます。また、外部企業と連携した業務改善も進めています。各自が日々の作業を見直し、より効率的で安全な仕事の進め方を一緒につくっていきましょう。



◆ 収運部

健康第一。体調を崩すと仕事も私生活もうまくいかないため、体を最優先に一年を過ごしましょう。また、車両などの共用備品を大切に扱うことが、安全確保や事故防止につながります。日々の意識を大切にしましょう。



◆ 総務部

前へ進む力と行動力がより一層求められる一年。総務部は、会社全体が安心して前進できるよう、「支える・整える・つなぐ」役割を担います。目立つ部署ではないですが、一つひとつの仕事を丁寧に、かつスピード感を持って行い、現場が力を発揮できる環境づくりに努めます。



◆ 営業部

昨年はコンプライアンスを重視し、営業活動の土台づくりに取り組んできました。今年はその姿勢を継続しながら、数字をしっかり意識し、全員が気合いを入れて営業活動に取り組みます。お客様との信頼関係を大切に、チーム一丸となって成果につなげます。



◆ 工事部

昨年は大きな事故やケガなく一年を終えることができました。12月には、解体・改修・新築工事が並行する長期・高難度の工事を受注しており、工期は厳しいですが、労働災害なく完成させることを最優先に努めます。事前準備を重視した工程管理、原価・利益の把握に努めるとともに、工事部だけでなく、営業部・営業事務、そして全部署の協力を得ながら目標達成を目指します。



◆ 環境事業部

昨年は大きな事故やケガなく業務を進めることができましたが、物損事故や作業中のケガも発生しました。防げた事故もあったと受け止めているため、今年は誰一人ケガをしない一年を目指します。新施設の完成・稼働を控え、新しい作業や課題も増えますが、その都度問題に向き合い、安全な作業環境づくりを進めていきます。引き続き、全員で安全を最優先に取り組みます。



◆ 経理部

今期は「つながる経理部」をテーマに、連帯感とチームワークの強化に取り組んできました。残り2か月も引き続き連携を深め、会社全体を数字の面から支えられるよう、部員一同取り組んでいきます。



◆ DX事業部

DX事業部は昨年4月に発足し、インフラ整備および基幹システム「ヒメカンシステム」のkintone移行準備を進めてきました。ネットワーク速度やシステム稼働率は改善され、業務環境は着実に前進しています。今年はいよいよkintoneへの本格移行を進めます。現場の気づきやアイデアを取り入れながら、より使いやすい価値ある仕組みを構築し、業務効率の向上とお客様への提供価値を高めるDXを推進してまいります。



◆ 安全衛生管理部

当社では無災害継続時間が30万時間に到達しましたが、一方で協力会社において労働災害が発生しました。原因は「危険予知不足」です。労働災害を防ぐうえでルール遵守は不可欠ですが、それだけでは災害を完全に防止できないことが改めて明らかになりました。今後も一層の安全意識向上を強く求めてまいります。

産業資源循環協会 青年部様向け オプショナルツアー開催！

島根県・広島県の産業資源循環協会 青年部の皆さま、計6名にお越しいただきました。

今回のオプショナルツアーは、新資源リサイクルセンターとして記念すべき“初めての見学受け入れ”となりました。本社にて会社概要や資源循環への取り組みを説明した後、本社リサイクルセンター、そして資源リサイクルセンターをご案内しました。

説明の中では、「資源リサイクルセンターが稼働すると、どれくらいのリサイクル率を目指しているのか」「いつから本格稼働するのか」など、今後の運営に関する具体的な質問も多く寄せられ、業界の方からの期待を感じる時間となりました。

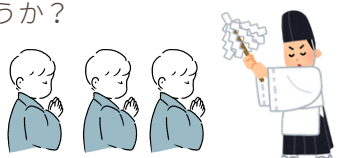


播磨国総社へ安全を祈願しました！

仕事初めの日、幹部が播磨国総社で会社と従業員の1年の安全と成長を祈り、参拝・お祓いをしてきました。今年も安全第一で1年間ゼロ災害で作業に従事していきましょう！



今年も境内に提灯を献灯をさせていただきました。初詣に来られた方はスマイリーちゃんとラブリーちゃんに気付いていただけましたでしょうか？



参加学生大満足！1day仕事体験 in 姫路オフィスを開催しました！

姫路オフィスにて27卒向け1day仕事体験を実施しました！当日は、当社が大切にしている価値観や想いを伝える企業映画「HIMEKAN HEROES」を上映。また、営業職の業務を具体的にイメージしてもらうため、見積もり作成の体験にも取り組んでいた参加者に満足していただけのイベントとなりました！



謹賀新年ver.のトップページ見られましたか？

1日～15日の間、公式HPのトップページが正月仕様となっていました！お気づきでしたか？

初日の出と本社事務所のきれいな画像に加え、全体をオレンジ色に変えて特別感を演出しました！今後もイベント・季節に合わせて様々な変化する予定です。お楽しみに！



新収運事務所 完成！快適環境！



資源リサイクルセンター竣工に伴い、10月より旧エコレンガ事業部事務所の内装工事を行い、ついに新しく収運事務所(配車センター)が完成しました！
住所が変更しておりますので、お問い合わせの際はご注意ください。

【新住所】

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-24

新防寒着 着用開始！



2026年1月より新デザインの防寒着の着用を開始しています！

従来よりも軽いのに暖かい
そしてカッコ良い！
装いを新たに冬の寒い時期
も作業に努めます！



2025年12月最終営業日 仕事納め式を執り行いました



2025年12月27日に仕事納め式を執り行いました。
代表取締役 梅崎社長より2025年の振り返り、39期社員の
目指すテーマの再認識・残り3か月を意識して行動して
いただきたといった話がありました。



式の終わりには、社員の皆様へ年越しそばとしてまねきの
えきそばをプレゼントさせていただきました。
2025年もお疲れさまでした！

新メンバー加入！ダンス同好会

ダンス同好会にとって、1年で
最も大きいお披露目イベント
「忘年会」では嵐の曲を披露。
ボーカル付きで楽しく踊られま
した！会場はまるでプロのアー
ティストに会っているかよう
な大盛り上がり！1月からは新
メンバーが1人加わり、13名で
活動しています。



設立39年を迎えました！



2026年1月21日
株式会社姫路環境開発は会社設
立39年目を迎えました！！日頃
から支えてくださっている皆様
に感謝申し上げます。来年の40
年目に向けて、さらにステップ
アップしていけるよう準備・実
践の年にしていまいります！



心を磨き、組織を育てる ― 姫路環境開発の木鶏会

● 姫路環境開発が木鶏会をする理由

木鶏会は、月刊誌『致知』を通して自分自身の心と向き合い、人間力を高めていく学びの場です。姫路環境開発では、役職や立場を越えて素直な心で学び合い、理念を行動につなげながら、心をつなげた組織づくりを目指しています。「質のいい会社」であり続けるために、人として成長し続けることを大切に、木鶏会を継続しています。

▼ 記事：インタビュー「一生挑戦 一生勉強」／河合 満氏（トヨタ自動車 エグゼクティブフェロー）

河合氏は、年齢や立場に関係なく現場に立ち続け、「人を信じて任せること」「自分が責任を取る覚悟」を貫いてきました。挑戦と学びに終わりはなく、失敗を恐れず積み重ねる姿勢こそが、人を育て、組織を強くしていくと語られています。

▼ 感想文紹介 リサイクルセンター勤務 Sさん

記事にあった「おまえら心配せんでもいい。俺が責任取る」という言葉を読み、過去に会長より「社長は部下を信頼しているが、お前は部下を信頼していない」と言われた事を思い出しました。私はワンマンで物事を進め、部下のことを信頼できていなかったと反省し、コミュニケーションと信頼関係を築くことが大切さを実感しました。今は「おまえら心配せんでもいい。俺が責任取る」と自分の口で言えるようになったと思います。

▼ 推薦理由（広報より）

Sさんの感想文は、立場や経験を重ねた今だからこそ書ける、すなおな気持ちが表現されています。過去の自分を否定するのではなく、「信頼すること」「任せる覚悟」「自分が責任を取る姿勢」へと学びをつなげており、木鶏会が目指す人間力を高め、心をつなげた組織づくりを体現していると感じ、今回紹介させていただきました。



防災バッグの中身確認企画を実施しました！



本企画は、いつ発生してもおかしくない災害に備え、一人ひとりが“いざという時に行動できる備え”を整えておくことを目的としています。私たち兵庫県民にとって、1月17日は阪神・淡路大震災が発生した日です。この日を節目として、防災への意識をあらためて高め、非常用持ち出し袋（防災バッグ）の中身確認や備えの見直しを恒例の取り組みとして定着させていきます。



リチウムイオンバッテリーの処分に困っていませんか？

皆様のご家庭で、使用済みのリチウムイオンバッテリーについて

「どうやって処分すればいいのかわからない」そんなことはありませんか？

姫路市では、リチウムイオンバッテリーを可燃ごみ・不燃ごみとして出すことは禁止されています。

不要になったバッテリーは、家電量販店や公共施設等に設置されている「小型充電式電池回収ボックス」へ持ち込んでください。

（※市町村によって処分方法・決まりが異なります。）



姫路市公式HPより